

EVENT REPORT

イベント開催報告

開催報告 /

REPORT
1

2022年度 第42回「九十九祭」を開催しました。

10月15日(土)、2022年度の北海道医療大学大学祭「九十九祭」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となった今年度は、学内関係者(学生・教職員等)のみでの小規模開催となりましたが、全体の来場者は約350名となり、久しぶりの大学生らしい賑やかなイベントに、参加した学生は大変楽しそうな様子でした。コロナ禍以前の大学祭を知っている大学祭実行委員がほとんどいない中で、ゼロから企画・準備を行った大学祭実行委員長の藤原健太郎さん(歯学部1年)は「他のメンバーと何度もコミュニケーションを重ね、学生支援課の皆様にもサポートしていただきながら、大きなトラブルもなく無事に終わることができて良かったです」と話していました。

大学祭の開催にあたり、徹底した感染症対策を施し、ポテトチーズフォンデュやバブルワッフルなどを販売するキッチンカー7台の出店や、学生有志によるステージ発表、大道芸人によるパフォーマンス、お笑いライブ、ピンゴ大会等が行われ、いずれも盛況のうちに終了しました。

来年度の開催に向け、藤原さんは「在学生の出店など、より学生が主体となった盛り上がりのある大学祭にするため、ぜひ来年も運営に関わっていきたいです。来年度こそはコロナ禍以前のような「九十九祭」が開催できることを願っています」と抱負と期待を語っていました。



開催報告 /

REPORT
2

全学科合同オープンキャンパスを 開催しました。

10月8日(土)、当別キャンパス・札幌あいの里キャンパスにて全学科合同オープンキャンパスを開催しました。学科横断型での実施は初となります。

「チーム医療プログラム」では、当別キャンパスと札幌あいの里キャンパスをオンラインで繋ぎ、チーム医療を学ぶ本学の特徴的な講義でもある「多職種連携入門」をベースにした参加型プログラムを行いました。本プログラムは各学科の教員や在学生の協力の下でプログラムを制作。患者情報を基に、どのようなケアができるかを参加者にも考えてもらい、参加者はさまざまな職種が関わり合うことで、患者さんにとってより良いケアを実現できるチーム医療の大切さを肌で感じていました。

「学科別プログラム」では、病院や在宅医療で使用する点滴の実験や効果的なストレッチの科学的検証など、各学科の実習設備を用いた体験実習や模擬講義を行いました。その他にも、在学生ライブトークやキャンパスツアーなど、各学科とも盛り上がりを見せました。

めざす分野・職種が決まっていない参加者も、「フリープログラム」で各学科ブースに参加して各学科の特色・カリキュラムなどをまとめたパネル展や在学生・教員との交流を通して興味を持ち、その後は学科別プログラムに参加するなど、将来の進路選択を考えるきっかけをつくることができました。



開催報告 /

REPORT

3

病院ではたらく相談のしごと体験講座を開催しました。

2022年度の看護福祉学部福祉マネジメント学科主催「病院ではたらく相談のしごと体験講座」を7月23日(土)と10月1日(土)に開催しました。このイベントは、医療機関などにおける福祉の専門職で、病気になった患者さんやそのご家族に寄り添いながら社会福祉の立場から支援する「医療ソーシャルワーカー(MSW)」に焦点を当てたもので、2019年度から開催しており、今年で4年目となりました。企画・準備から当日の運営まですべて福祉マネジメント学科の在学生在が中心となり、北海道医療大学病院のMSWのほか、手稲溪仁会病院や日鋼記念病院の現役のMSWも参加し、一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会からの後援や、福祉マネジメント学科同窓会の支援のもと、対面とオンラインの同時開催で実施されました。

イベントでは、在学生と教員、卒業生で北海道医療大学病院の現役のMSWが、事前に制作した動画(北海道医療大学病院を舞台にした患者さんの面接、医師や薬剤師、看護師、理学療法士、歯科衛生士など多職種から収集した情報をもとにした相談援助の場面)を視聴しつつ、事例に対するグループワークを行いました。また、7月の開催では、対面で参加した方に大学の中を案内しながら、その様子をオンラインでライブ配信し、10月の開催では、日鋼記念病院のMSWから現場で実際に経験した相談の事例を紹介しながら意見交換を行いました。オンラインでの同時開催が利点となり道外から参加してくれた方もいました。動画や事例紹介の中でチーム医療の現場における福祉職の役割を疑似体験することで、福祉の学びの幅広い活躍の場を紹介でき、在学生にとっても参加者にとっても実りのあるイベントになりました。



開催報告 /

REPORT

4

アダプテッド・スポーツ体験会を開催しました。

8月7日(日)開催のスポーツオープンキャンパスに合わせて、アダプテッド・スポーツ体験会を実施しました。本学学生に加え、町内で障がい者スポーツ活動を行う、とうべつチャレンジクラブメンバーなどにも参加いただき、総勢10名を超える参加者となりました。ポッチャを中心に、ボールの投げ方や一歩進んだテクニックについてゲーム感覚で学び、ねらった技が成功するとみんなで盛り上がりました。その後はチームに分かれて試合形式を楽しみました。今回、初めの実施形態となりましたが、年齢や障がいなど関係なく楽しめるアダプテッドの視点から、スポーツを活用した学生や地域住民らの交流できる場、地域づくり活動の機会にもなりました。



開催報告 /

REPORT

5

大学へいこう2022 ～1日大学生～ を開催しました。

8月8日(月)、児童養護施設等で暮らす子どもたちを大学に招待をする企画、「大学へいこう」を開催しました。

本企画立案のきっかけは、本学へ来学されたケアリーバーの「今日大学の教室に座れたことは、一生の思い出だ」という一言でした。児童養護施設等で暮らす子どもは、さまざまな要因で進学ができず夢を諦めることもあります。また、将来をイメージする機会が持てず、自立に向けた動機付けにも苦労をします。

本企画は、子どもたちが『1日大学生』となり、学内散策や研究室訪問、模擬講義の受講など、大学ならではのコンテンツを通し、自分の将来を考える機会になることを目的としました。このような取り組みは、全国的にも珍しい取り組みであり、当日子どもたちは学生との交流を含め、『大学生活』を満喫していました。

